

2004年6月12日「児童労働反対世界デー」シンポジウム

プログラム

12:15-12:45 プレイベント（UNハウス前庭）

シンポジウム

13:00-13:30 劇「家事使用人として働かされる子どもたち」（25分）

13:30-13:40 開会の辞
堀内 光子 ILO 駐日代表

13:40-14:00 国際労働機関（ILO）
子ども家事使用人の現状、ILO 児童労働撤廃国際計画について

（スタディ・ツアーの報告）

14:00-14:20 NTT 労働組合
インド、タイ、パキスタン児童労働スタディー・ツアー報告

（現地での活動報告）

14:20-14:40 国際労働財団
ネパール、インドの学校プロジェクト

14:40-15:00 ワールド・ビジョン・ジャパン
カンボジア、インド、ウガンダ等の児童労働プロジェクト

15:00-15:20 国際子ども権利センター
カンボジア・インドでのプロジェクト

15:20-15:40 休憩

（会議参加・日本国内での活動報告）

15:40-16:00 ACE / フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
「児童労働に関する子ども世界会議」（5/10-16、フィレンツェ）出席者
による成果発表

16:00-16:20 ECPAT / ストップ子ども買春の会ユース
アート・ワークショップ活動発表

16:20-17:00 一般参加者からの質問・意見

主催・共同企画運営団体の紹介

国際労働機関 (ILO) 駐日事務所

「人間らしい仕事」(ディーセント・ワーク)の達成をめざして、働く人々の基本的人権に関する国際基準を設定・推進するとともに、仕事の機会の増進や、その条件の向上を図るために活動する国連専門機関。

ACE (エース: Action against Child Exploitation)

キャンペーンや開発教育を通して「児童労働の問題を私たちの行動や考え方を変えることで解決する」ための若い世代と共に活動する NGO。

ECPAT / ストップ子ども買春の会

子ども買春、子どもポルノ、性目的の子ども的人身売買根絶をめざす国際 NGO “ ECPAT International ” の活動を日本で担う公式関連団体。

国際子ども権利センター

児童労働、子ども買春、子ども的人身売買など、南の子どもの人権侵害について日本社会に知らせ、子どもたちが自ら問題を解決していけるようにエンパワーする地元の NGO を支援。活動地域は主にインドとカンボジア。

フリー・ザ・チルドレン

カナダで生まれた子どもが子どもを支援する活動を行っている子ども・若者主体の国際協力団体。

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン (認定 NPO 法人)

世界 100 カ国で活動し、50 年以上に渡り、地域開発、緊急援助などあらゆる活動で子どもを支援している国際 NGO の日本の NPO 法人。

国際労働財団 (JILAF)

労働分野の国際交流により、諸外国との相互理解を促進するとともに、各国労働団体を通じた支援・協力により開発途上国の社会経済開発に寄与することを目的として、労働組合の「連合」によって設立された NGO 組織。

NTT 労働組合

NTT グループ社員で構成する労働組合(組合員 18 万 5 千人)。結成(1950 年)以来、活動は企業内にとどまらず、平和・人権・環境問題など「社会的価値ある運動」に積極的に取り組んでいる。

劇団羊ガーデン

立教大学の演劇サークル「テアトルジュンヌ」の OB を中心に結成された若手劇団。都内の小劇場で年 2 ~ 3 回の公演を行う。コメディの要素をとりいれつつも、若者の苦悩と葛藤を題材にした作品が多い。